



『日本一海から遠い地点』

【北信署】 日本で、海から一番遠い地点は、北緯三十六度十分二十五秒、東経百三十八度三十五分〇一秒の地点で、長野県佐久市田口字榊山の旧白田町の榊山国有林十二林班れ小班にあります。

この地点は、静岡県富士市の田子の浦港から百十四・八六キロメートル、新潟県上越市直江津から百十四・八六キロメートル、糸魚川市梶屋敷から百十四・八七キロメートル、神奈川県小田原市国府津から百十四・八六キロメートル離れています。ちなみに北海道で最も離れた地点は、石狩山地美瑛岳の東約七キロメートルで、海岸線から百八・二一キロメートルのようです。

この場所に自動車で行けるのは、麓の雨川ダム湖畔にある保養センター湖月荘まで、田口峠に向かって県道九十三号線を登っていくと、右手にあります。

その先はゲートで閉鎖された林道を一・三キロメートル、さらに沢づたいの歩道を一

キロメートル程、合計二・三キロメートルの道程をひたすら歩いて登ると群馬県南北村との境界尾根に程近い長野県の山の中に標識が設置されています。

平成八年に筑波大学の学生が海から一番遠い場所を建設省（現国土交通省）国土地理院に問い合わせたのがきっかけで、国土地理院の職員がコンピュータを駆使し、一ヶ月かけて割り出したそうです。

なお、日本で海岸線から一番遠い地点へ行くと、佐久市観光協会から『到達認定書』が頂けるそうですので、行ってみたいかがでしょうか。

問い合わせ、申請場所は：佐久市役所 白田支所 経済課商工観光係

電話（〇二六七） 八二―三一一―

◇アクセス方法

【公共交通機関】

JR 白田駅から田口峠へ自動車で約十五分、徒歩五十分。



日本一海から遠い地点の標柱

